

報告事項テ

鳥取西道路の整備に伴う発掘調査の状況について

鳥取西道路の整備に伴う発掘調査の状況について、別紙のとおり報告します。

平成25年10月28日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

# 1 松原田中遺跡（鳥取市松原）の発掘調査成果、現地公開について

鳥取西道路の建設に伴い平成25年4月から調査を進めている松原田中遺跡において、弥生時代の祭りの道具である銅鐸の破片や銅製の腕輪である銅釧の破片といった他地域との交流の実態をうかがわせる出土品などが見つかりましたので、下記のとおり現地公開を行います。

## 1 現地公開

- (1) 日時：平成25年11月2日（土）  
午後1時から午後2時  
(小雨決行。※警報発令の場合中止)
- (2) 場所：発掘調査現場（鳥取市松原字田中地内）

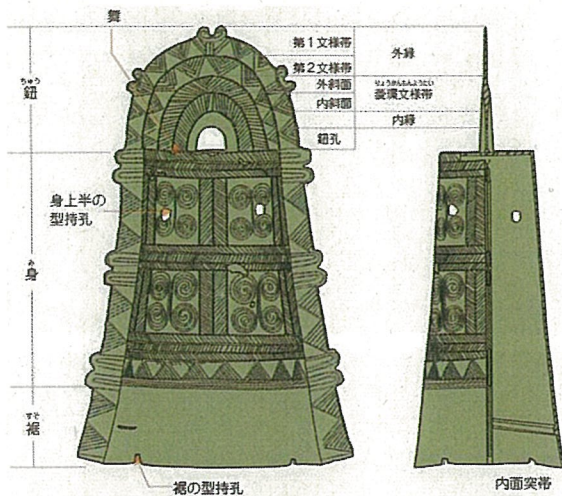


## 2 主な調査成果

- (1) 弥生時代の祭祀の道具である銅鐸の破片が2点出土しました。県内では20例目となり、近畿地方との交流がうかがえる資料です。
- (2) 銅製の腕輪である銅釧の破片が1点出土しました。県内では八頭町の奈免羅・西の前遺跡に次ぐ出土例で、山陰地方でも2例目となる貴重な発見です。
- (3) 他にも管玉の素材となる北陸産の碧玉や、石器の素材となるサヌカイトや黒曜石等の特定の地域で産出する石が出土した他、他地域から持ち込まれた土器も出土するなど、各地との活発な交流をうかがわせる資料が多く出土していて、湖山池が入海だった時代に日本海沿岸の交流の拠点としての役割を果たした集落跡と考えられます。

## 3 その他

現地説明会当日は、弥生時代の護岸施設等が見つかった良田中道遺跡、古墳時代の水田跡が見つかった桂見鍋山遺跡、縄文土器などが見つかった東桂見遺跡の写真パネルや出土品も併せて展示します。



① 銅鐸の模式図



② 銅鐸の破片(弥生時代中期頃)

## 2 下坂本清合遺跡（鳥取市気高町下坂本）の発掘調査成果、現地公開について

平成25年4月から調査を進めている下坂本清合遺跡において、下記のとおり一般公開を実施し、84名の参加がありました。

当遺跡では、鎌倉時代を中心とする時期の集落跡が見つかり、隣接する河川跡からは、漆器等の日用品とともに当時の祭祀に使われたと思われる多くの牛・馬の骨が見つかりました。

### 1 現地公開

- (1) 日時：10月19日（土）午前11時から
- (2) 場所：鳥取市気高町下坂本地内発掘現場
- (3) 参加者：84名

### 2 主な調査成果

#### (1) 遺構

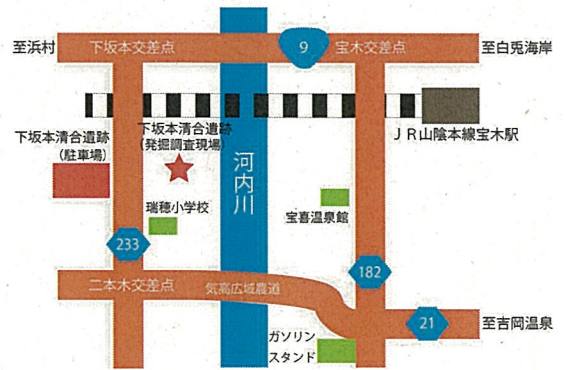
- ・鎌倉時代の掘立柱建物跡、畠跡、河川跡
- ・江戸時代以降の水田跡、河川跡など

#### (2) 出土品

- ・鎌倉時代の漆器（椀、小皿）、土器（甕、鍋、小皿など）、陶磁器など
- ・人形※（ひとがた）、舟形※（ふながた）、卒塔婆（そとば）などの木製祭祀具
- ・牛や馬などの獣骨多数

#### (3) 調査のポイント

- ① 当時の人々は河川の氾濫により埋まり広がった土地に進出し、集落や畠を形成するなど、当時の土地開発の様子がうかがえる。
- ② 河川跡からは、漆器や木製祭祀具などとともに、多数の牛・馬の骨が見つかり、当時の生活、祭祀で使われた遺物が多量に出土した。



① 鎌倉時代の河川と建物跡（南西から）



② 現地説明会風景



③ 木製祭祀具（人形、舟形）



④ 牛骨出土状況

### 3 会下・郡家遺跡（鳥取市気高町会下）の発掘調査成果、現地公開について

鳥取西道路の建設に伴い平成25年4月から調査を進めている会下・郡家遺跡において、下記のとおり現地公開を行い、112名の参加がありました。

本遺跡では、平安時代の役所に関連する大型の建物跡や、弥生時代の一般集落では見られない大型の「独立棟持柱建物跡」が確認されました。

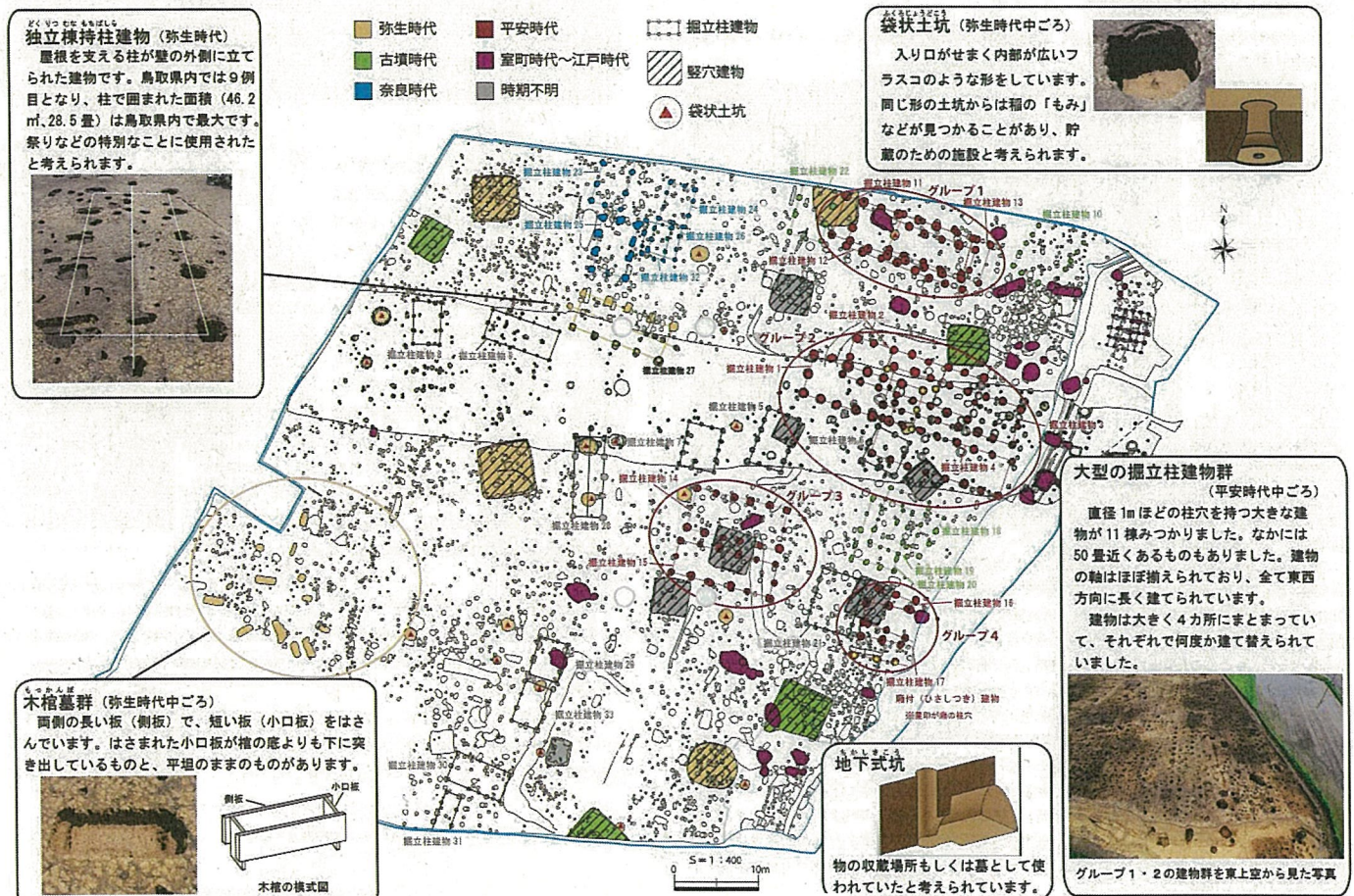
#### 1 現地公開

- (1) 日時：平成25年10月5日（土）  
午後2時から
- (2) 場所：発掘調査現場（鳥取市気高町会下地内）
- (3) 参加者：112名



#### 2 主な調査成果

- (1) 弥生時代中頃（約2,100年前）には、県内で最大規模の「独立棟持柱建物」が存在しており、当時の拠点的な集落の一角であったと考えられる。
- (2) 平安時代（約1,100～1,000年前）には、大型の掘立柱建物が規格性を持って繰り返し建てられており、役所の倉庫などの当時の重要な公的施設が存在していたと考えられる。
- (3) 律令制に基づいた国府・郡衙による地方支配体制が崩れつつある時期の建物群であることから、国府の出先施設であったことが想定される。



調査の概要